

一般社団法人 日本呼吸療法医学会
2022 年度（第 45 期）第 4 回理事会 議事録

日 時：2023 年 8 月 4 日(金)14:00～15:00

場 所：名古屋マリオットアソシアホテル 17F「パイン」

出席者：藤野裕士（理事長）、内田寛治、大塚将秀、志馬伸朗、竹内宗之、
近藤康博、中根正樹、石井宣大、佐藤暢一、玉木 彰、
茂呂悦子（各理事）、川前金幸、西田 修（監事）

欠席者：竹田晋浩、平井豊博（理事）

（敬称略）

【開 会】（藤野理事長）

- ・理事会開催に必要な理事の過半数の出席が報告され開会が宣言された。

I. 報告事項

1. 前回理事会議事録の確認・承認（藤野理事長）

- ・前回議事録は、原案どおり承認された。

2. 持ち回り理事会（審議 0 件、連絡 1 件）決定事項の承認（藤野理事長）

- ・連絡事項 1 件を確認した。

3. 理事長報告（藤野理事長）

1) 研修施設の更新

- ・先の専門医委員会で研修施設の更新について審議した際、異動などによる呼吸療法専門医不在のため更新不可の施設が 4 施設あった。うち、長崎労災病院（⇒長崎大学病院）と鹿児島大学病院の部長に連絡をして、集中治療専門医を有している先生を暫定的に呼吸療法専門医として認定し、研修施設の更新に対応いただくよう依頼した。

4. 学術集会準備状況

1) 第 45 回学術集会（近藤会長）

2023 年 8 月 5 日(土)・6 日(日)ウインクあいち（名古屋）

「つなぐ ～ニューノーマルへ Connecting the Dots」

- ・参加登録が 1,300 名まで増えていることが報告された。

2) 第 46 回学術集会（中根副会長）

2024 年 6 月 28 日(金)・29 日(土)天童ホテルほか（山形）「標す」

- ・テーマは“目標を定める”という意味で「標（しめ）す」としたことが報告された。
- ・学術集会前日の理事会・総会は現地で開催することを確認した。

3) 第 47 回学術集会（吉田健史代議員）

2025 年 8 月 30 日(土)・31 日(日)グランキューブ大阪（大阪）

- ・2022 年定時社員総会で承認された内山昭則会長（大阪大学）より異動のため会長職の辞退があり、後任として吉田健史代議員（大阪大学）が候補に上がり理事会では

承認された。総会で審議を行う。

5. 事業報告

1) セミナー事業（大塚理事）

- ・第 52 回日本呼吸療法医学会セミナーの受講期間終了。820 名の受講。
受講期間は 7/1～31。受講料は 7,700 円（税込）。
- ・医師向けセミナー第 2 回 Refresher コースの参加申込受付開始。
受講期間は 11/1～30。受講料は 12,100 円（税込）。
- ・日本集中治療医学会 50 周年記念企画「サマーキャンプ in NISEKO」（8/25～26）で
先方からの依頼を受けて本会セミナー委員がハンズオンセミナー「人工呼吸器」（8/25）
を担当する。

2) 呼吸療法専門医研修施設 2023 年度〈更新・新規〉申請（佐藤委員長）

- ・更新 34 施設（対象 36）、新規 4 施設からの申請を受理した。

6. その他

1) 2023 年度理事会日程

- ・第 1 回理事会（Web 形式） 11 月 16 日(木)14:00～15:30
- ・第 2 回理事会（Web 形式） 2 月 22 日(木)14:00～15:30
- ・第 3 回理事会（Web 形式） 5 月 23 日(木)14:00～15:30
- ・第 4 回理事会（集合形式、山形） 6 月 27 日(木)14:00～15:00

II. 審議事項

第 1 号議案 呼吸ケア指導士の研修単位の件（近藤理事）

- ・日本呼吸ケア・リハビリテーション学会では「呼吸ケア指導士」の認定を行っている。今回の第 45 回学術集会の参加を研修単位としてお認めしたが、今後、継続的に
本会学術集会への参加・演題発表を認定いただくよう先方に打診することについて
審議を行い承認された。
- ・本件以外にも、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会とは多職種の活動において
連携できる点が多いとの意見があがった。2024 年 11 月の第 34 回日本呼吸ケア・リ
ハビリテーション学会学術集会（近藤康博会長、名古屋）で、共同シンポジウムの
開催を提案することが承認された。

第 2 号議案 呼吸療法専門医研修施設 2023 年度〈更新 34・新規 4〉（佐藤委員長）

- ・更新 34 施設（対象 36）、新規 4 施設からの申請について承認した。

第 3 号議案 広報委員会の設置について（藤野理事長）

- ・今後、ホームページや SNS を活用した情報発信の必要性について意見があがった。
現在課題となっている各職種のニーズをくみ取る手段の 1 つとして、広報委員会の
設置を検討し、多職種会員から有望な方を推薦いただくこととした。石井理事が臨
床工学技士を、玉木理事が理学療法士を、茂呂理事が看護師をそれぞれ担当する。